

学校
教育
目標

明るく
素直に
礼儀正しく



海老名市立杉本小学校



学 校 便 り

令和8年6月29日
校長 奥泉 憲

インクル の視点④

29日(月)の朝会で前田教頭先生から講話がありました。内容は「インクルーシブ教育」について。「みんなのふつうって」「みんなのあたりまえって」どういうことだろう?というテーマを、一緒に考えました。教頭先生が、子どもたちに一つ質問をしました。『お友だちと待ち合わせをしていて「ちょっと遅れます。」と言われたら、どのくらいに感じますか。』選択肢は、5分、10分、15分、20分、25分、それ以上、の6つ。子どもたちに聞いた結果は、5分が2割、10分が5割、15分が2割、その他が1割くらいに分けられました。「ちょっと」という表現一つでも、これだけ感じ方がちがうということに、子どもたちは少し驚いていたようでした。何事も感じ方は、人それぞれです。「ふつう」や「あたりまえ」も人それぞれの感覚があり、そこにちがいも生まれます。だから「そういうこともあるよね」「そういう考え方もあるよね」とお互いの感じ方、考え方を認め合うことが大切になります。教頭先生の話は、それぞれに「ちがいがあっても、みんなが自分らしく、安心してすごし、学べる学校」にしようと結ばれました。

学校長 奥泉 憲



教育実習 を終えて 梶川真聖先生

4週間という期間になりましたが、教育実習生として母校である杉本小学校に迎え入れてくださった6年1組の児童の皆さん、担任の池田先生はじめ先生方皆様に深く感謝申し上げます。

未熟ながらも「先生」と呼ばれて過ごした日々は、私自身にとりましてもかけがえのない宝ものであり、財産となりました。今後もより一層精進してまいります。ありがとうございました。 横浜国立大学教育学部3年 梶川 真聖



6の1担任池田先生と一緒に

校長先生 おぼえて いるよ

海老名小学校で校長を務めていた時のことです。6年生と一緒に日光に修学旅行に行き、「日光江戸村」で、中新田小学校の6年生たちに会いました。すると何人かの子が「奥泉校長先生、こんにちは。お久しぶりです。」と声をかけてくれました。私は、びっくりしました。なぜなら、私が中新田小で校長をしていたのは、ずっと前のことで、6年生がちょうど1年生の時だったからです。「私のこと、覚えてくれていたんだね。」「覚えているよ。だって毎朝、校門で挨拶をしてくれたよね。」すっかり成長した子どもたちの顔を見て、6年前の記憶が鮮やかに甦りました。あいさつが繋いでくれた再会に心から感謝しました。

学校長 奥泉 憲